

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 one step

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を含めた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	0	パーテーション、マットで視覚で分かるようにしている。	個人差で利用スペースが変わる為、パーテーション等で区切って対応していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3	0	資格保有者を配置基準に合わせて配置。	
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	0	設備上難しいので、人為的なバリアフリーで対応している。	建物の構造上バリアフリー化は難しい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	5	0	児童の様子などを把握できるよう、日誌や個人ファイルを共有している。	特定職員の参加が多いため、全体的に参加できるよう検討していく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0		今回初めてアンケートを実施したが今後の活動に活かせるようにしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか	0	7	0		HPの編集が遅れ、公開に時間が掛かってしまった為、改善していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	様々な視点からの研修を行っている。開所後は他事業所への見学も実施。	支援力向上の為、研修には積極的に参加するよう努めていく。
適切な 支援の 環境	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	0	アセスメントを共有し、担当者会議を経て、計画作成を行っている。	本人、保護者の思いをしっかりと汲み取り、計画を作成するよう心掛ける。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	少人数ではあるが、意見交換を行い、立案している。	中・高生特化なので、見合ったプログラムを模索していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	様々な項目を設け、幅広い内容を準備している。	児童が興味を持って取り組めるプログラムの構築を続けて行く。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	0		大まかになっている部分もある為、工夫していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	個別プログラムと小集団プログラムを実施している。	プログラムの実施結果を基に計画の内容向上を目指していく。
	15	支援開始日には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	予定の打ち合わせを行い一日の流れを共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5	0	記録やLINEなどを用いて共有している。	支援終了後には難しいため、翌日など別日に共有できるよう配慮していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0		記録の打ち方や内容について不足しているところがある為、研修などを通し改善していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	5	0		特定の職員で行うため、改善が必要。様々な職員に参加してもらい、より良い支援につなげる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2	0	事業所の特徴を活かし、組み合わせている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	0		ふさわしい担当が参加するようにしていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	2	0	学校との情報共有だけでなく、必要に応じて保護者とも連携を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	0	指示書などをいただき、適切な対応を行っている。	実際にやり取りすることが出来ていないので改善していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3	0	個々の様子を見て、必要性を感じた場合は情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	2	情報共有は同意を得ているので確実に行うが、開所1年であり、実例がない。	今後、必要な際は行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	0		資料やプログラムに関して参考にさせていただいているが、研修などがあれば参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	同法人の学童と一緒に行事などを行っている。	機会があまり多くないため、今後は増やしていくことを検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	協議会や、研修には積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	LINEや連絡ノート、送迎時の会話などを通して共通理解に努めている。	職員間での共有に漏れが生じることがあったので改善していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	0	必要に応じて相談できる機会を設けている。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時に資料を用いて説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0	相談においては職員間で情報共有し、試行錯誤しながらその結果をお伝えしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	5	父母会などの実施はない。職業体験や地域のイベントでの関りのみ。	交流できる機会を設けられるよう検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	必要に応じて情報収集を行い、丁寧な対応を心掛けている。	今後も苦情に関しては適切・迅速に対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	2	会報はないが、SNS等で実施している。	職員間でも認知していない方がいるので発信に力を入れていきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	7	0	0	言葉の伝え方だけでなく、コミュニケーション方法も工夫しながら対応している。	様々な児童や保護者がいるので、コミュニケーション方法などは研修等でスキルアップを目指す。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	0	季節行事は法人全体で行い、地域住民の方々にも参加していただいている。	

非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	3		マニュアル作成までの期間があったので、面談時に再度周知を実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	様々なケースを想定し、実施している。	自然災害などが増えて来ているので、訓練の機会を増やしていきたい。
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	経験者職員の事例を用いて意見交換などを実施している。	研修などに積極的に参加して学んでいきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束が必要となるケースに関しては職員間の研修等で話し合っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	契約時に伺い書をお渡しして、記入してもらっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	0	職員間で共有し、再発防止に努めている。	